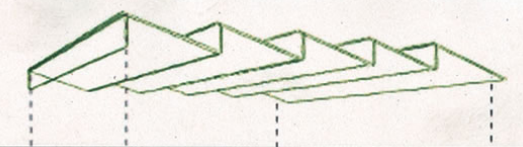
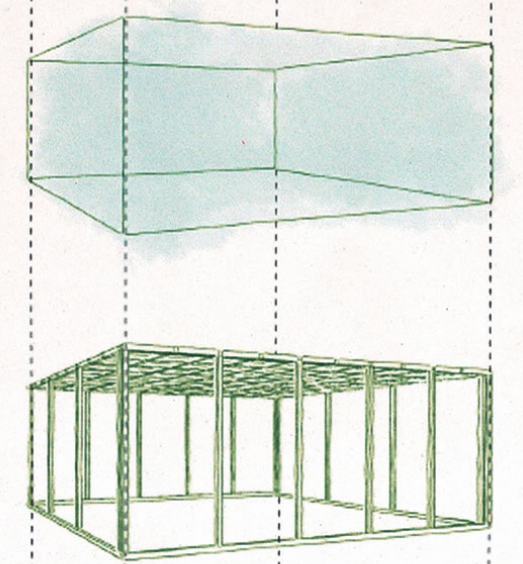




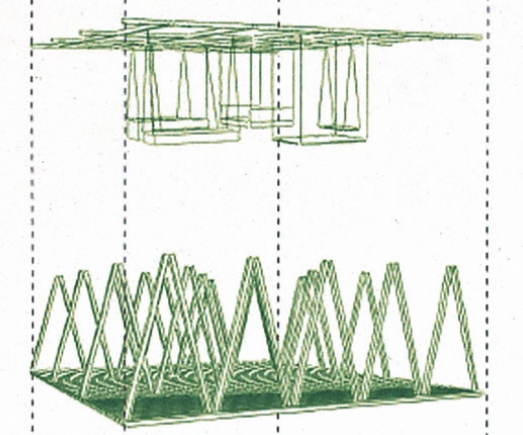
4. 南方の光を取り込む
鋸屋根がかけられる。



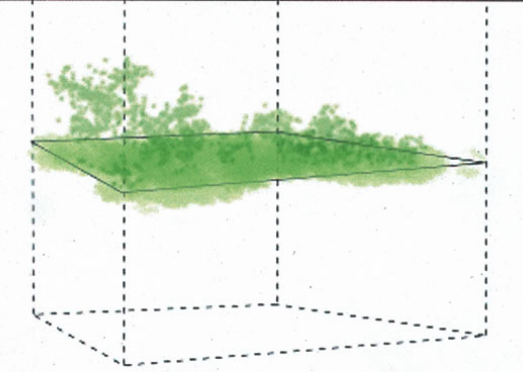
3. 四周を開口部の
少ない建物によって閉
われている旗竿地の特
性を利用し、集光する
ガラス壁面を全面に用
いる。ぶどう棚のよう
な構造体からは、つる
植物やカーテンが吊り
下げられ、大きなワン
ルームがやさしく仕切
られる。



2. 呼吸する床を傷
つけないために、吊り
家具を設置し、住宅の
床面を解放する。吊り
家具はプランコに見ら
れるような斜材で支え
られる。家具の配置は、
植物の位置と住人のラ
イフスタイルを考慮し
ながら決められる。



1. 敷地境界いっば
いに食べられる植物の
菜園であるエディブル
ガーデンを設ける。敷
地の微気候をとらえ、
日照時間など、植物が
生育するのに必要な条
件を考慮しながら、共
生させる植物の組み合
わせを決める。



は た ゆ か

畑床の住宅

建築物の更新が難しく、空き家問題の要因の一つともなっている旗竿地の住宅。これらの価値が低い原因として、暗く狭い外部空間が挙げられる。近年、都心の住宅では敷地の狭さを有効活用したエディブルガーデンが見られるが、環境の悪い旗竿地の住宅での実現はなかなか難しい。そこで、敷地の余白に植栽を施すのではなく、敷地全体を利用して適材適所に植物を配置し、これを住宅の床とすることを提案する。植物のつくる微気候の内に家具を配置し、植物を育てながら生活をする。エディブルガーデンを取り入れることで、住宅が食糧生産の場となる。収穫された野菜を使った料理は、人々をつなげる。

これは、住宅の最初の住人を人間ではなく、植物とする試みである。

□Scene 植物と寄り添った畑床の住宅での暮らしの1シーン。床、壁、天井の植物が、時間や季節の変化を教えてくれる。

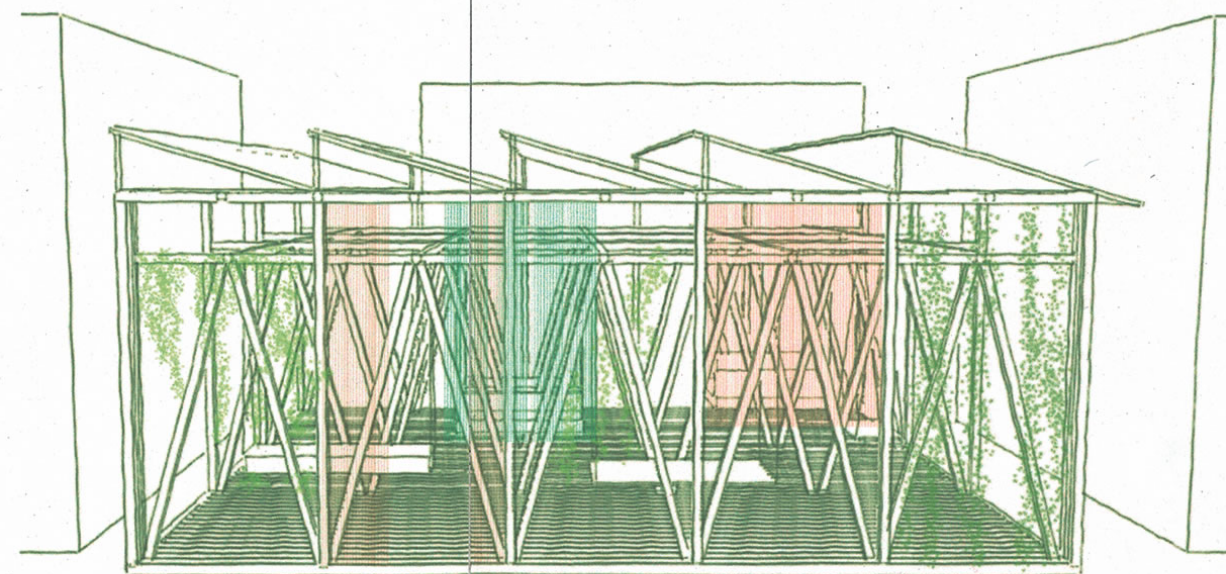


ラベンダーの香りでつろぐー 23:30, Friday

東からの光を受けてかがやくぶどうの下で読書ー 10:00, Saturday

夕飯に使うパズルを収穫していたら友人が到着ー 16:30, Saturday

□Elevation 植物とカーテンによるレイヤーがファサードにあらわれる。



□Plan 畑床の住宅は、住宅街のなかに中庭のような場所をつくりだす。

